

第7回通常総会・第25回理事会を開催しました（6月5日）

6月5日、ホテルメトロポリタン仙台にて第7回通常総会および第25回理事会を開催しました。

東観推では、2021年度よりスタートした第5期中期計画も3年目の折り返しの年となり、アフターコロナの時代に東北観光のV字回復を目指して、年度当初から切れ間ないようにスタートダッシュを行っております。ゴールデンウィーク期間中には、タイで現地イベント「日本東北観光フェア」を開催するなど、引き続き、訪日プロモーションをタイムリーに行うとともに、「Base!TOHOKU」、「広域ドライブルート」の訪日展開や、東北観光DMP、CRM「TOHOKU Fan Club」の活用拡大、教育旅行のブランド化等の各種施策を強力かつ着実に推し進め、コロナ禍で疲弊した地域経済の復興と持続可能な観光地域づくりを力強く支援し、東観推のビジョンである“世界が訪れたくなる「東北（TOHOKU）」、住みたくなる「東北（TOHOKU）」”の実現に向け邁進してまいります。

●第7回通常総会・第25回理事会

通常総会では会員の皆様による委任状または議決権行使書の提出に当日のご出席を加えて218団体となり、無事開催することができました。

また2022年度事業報告、2023年度事業計画・収支予算についての報告を行ったあと、理事選任の件、2022年度収支決算の件について審議を行い、いずれも異議なく承認されました。

第25回理事会では、副会長の選任、新規入会会員について審議を行い、いずれも異議なく承認されました。

その後、記者会見を行い、東北域内外の関係各団体と連携して、様々な取組みを推進して行くことについて松木会長よりお話ししました。また、紺野理事長より、アフターコロナにおける東観推の取組みとして、2023年度の事業計画、特に台湾・タイ等の訪日市場に向けたプロモーションや東北観光DMP、Base!TOHOKU、TOHOKU Fan Club、ドライブルートなどについて説明しました。

事業報告・決算・事業計画・役員名簿は、旅東北ホームページに掲載しております。
<https://www.tohokukanko.jp/business/about-us/index.html>

●第7回通常総会 記念講演

総会の後は記念講演として、東日本旅客鉄道株式会社 顧問 清野智氏（JNTO 顧問、東観推元会長）から「観光立国の復活に向けて」という演題でご講演いただきました。

訪日外国人旅行者の現状、観光地としての日本の人気、第4次観光立国推進基本計画、アフターコロナを見据えた日本の取り組み、MICEなどについて、有意義なお話をいただきました。



【松木会長 挨拶】



【松木会長・紺野理事長による記者会見】



【講演の様子】

フェニックスアワード表彰式（6月5日）

「フェニックスアワード」は、東北・新潟に関わる観光振興を通じ地域の活性化に貢献し、その功績が顕著であった団体・個人の皆様を表彰し、さらに当地域の観光発展に寄与することを目的として一昨年創設されました。審査委員会による審査の結果、第3回目の受賞団体3組を決定したことは先月号でご紹介した通りですが、6月5日に行われた東北観光推進機構第7回通常総会にて表彰式を行いました。



一般社団法人Clan PEONY津軽様



株式会社かつの観光物産公社様



小岩井農牧株式会社観光部様

受賞された3団体様には取り組み内容などを紹介するチラシを提供いただき総会で配布を行ったほか、総会終了後の懇親会においてもご挨拶をいただき、受賞に関するコメントや取り組みのポイント、今後の展望などをお話いただき、受賞内容のPRをしていただきました。

東観推は引き続き「フェニックスアワード」等の事業を通じ、東北・新潟の観光に従事いただいている事業者の方々を、微力ながら応援してまいります。

東北運輸局との意見交換会（6月9日）

今年度1回目となる、東北運輸局との意見交換会が行われました。東観推からは2023年度の事業方針、事業内容等を説明しました。また東北運輸局からは、今後の観光政策について説明がありました。その後、現在の様々な課題について意見交換をおこなったほか、DX事業やDMO連携の話題が上がり「これまで以上に連携していくことが必要」との共通認識のもと意見交換会を終えました。

今後も、東北運輸局をはじめとする関係者の皆様方との連携を密にしながら持続可能な東北観光の実現に向け取り組んでまいります。



【意見交換会の様子】

第24回理事会を開催しました（5月11日）

ホテルメトロポリタン仙台にて第24回理事会を開催しました。2022年度事業報告、2023年度事業計画・収支予算についての報告を行ったあと、新規入会会員の件、第7回通常総会付議事項の件について審議を行い、いずれも異議なく承認されました。

【理事会の様子】



欧米インフルエンサー1名を招請しました（5月23日～28日）

在日の英語圏向けインフルエンサー1名を招請し、訪日関心層向け「新たなデスティネーション」をテーマに、福島県・山形県・宮城県・青森県の観光コンテンツを視察しました。視察全体を通して、東京～ゴールデンルートなどの他地域では出会えない、景色、手つかずの自然、地元グルメ等、好奇心をくすぐるコンテンツが好評でした。特に、一般社団法人WATALISでの地域復興への取り組み紹介と、八戸市での滞在（潮風トレイルと横丁散策・館鼻岸壁朝市）は、地元地域を盛り上げようとする地元の人々の取り組みや思いについて知ることができたと大変好評でした。

またインフルエンサーからは、『日本人が勧める外国人が頭の中で想像している“日本”は全て東京にあり、手軽に日本を観光したい人は東京やゴールデンルートに行けば良い。ゴールデンルートから離れて東北へ行く外国人は「アドベンチャー」「新しい発見」「実際に暮らしている人の姿」「文化・生活の体験」などを求めている』との話があり、『東北は景色や手つかずの自然を活かしてプロモーションする方が良いのではないか』とのアドバイスがありました。

今後、欧米向けのプロモーションではこのような意見を参考にしながら、情報発信してまいります。



【みちのく潮風トレイルでの取材の様子】

SNOW TRAVEL EXPO SYDNEY（シドニースキー旅行博覧会）に出展しました（5月28日）

豪州シドニーにおいて、八幡平市/安比高原および山形市/山形蔵王と共同ブースを出展し、旅行会社及び一般消費者向けに冬の東北のプロモーションを実施しました。東観推として4年ぶりのSNOW EXPOへの出展となりましたが、訪日旅行の購買意欲が高まっている豪州市場において、各事業者と連携しブース出展することにより、スケールメリットを活かしながら効率的かつ効果的なプロモーションができました。

またブースでは、TOHOKU Fan Clubに登録された方に日本の「ガチャガチャ」を体験してもらったり、VRにて東北の冬の風景を楽しんでもらったりと非常に賑わいました。

日本へのスキー旅行人気がますます高くなる中、今後も東北一体となったプロモーションを引き続き行ってまいります。



【東北ブースの様子】

教育旅行関連団体・旅行会社への首都圏セールス（5月19日・26日）

東北観光推進機構では、本年度も旅行会社、学校関係者を対象に「東北教育旅行セミナー」を全国主要5都市（7月5日 札幌、7月20日 東京、8月23日 大阪、8月30日 名古屋、9月11日 福岡）で開催いたします。

セミナーに先立ち、東北の教育旅行にとって最重要市場となる首都圏の教育旅行関連団体や旅行会社を訪問し、同セミナーの案内と、マーケット動向について意見交換を行いました。インバウンド急回復によるオーバーツーリズムや、旅行費用の高額化が教育旅行に与える影響を懸念する声が多い中、東北ならでること、東北ならではの魅力をアピールし、引き続き教育旅行誘致を強く推進してまいります。

東北教育旅行 青森県誘致促進連絡会議に出席（5月30日）

青森県観光物産館アスパムで行われた青森県教育旅行誘致促進連絡会議に参加しました。

東観推が主催する今年度の「東北教育旅行セミナー」について説明するとともに、青森県ははじめ東北各県で連携した広域的な教育旅行誘致活動の協力を依頼しました。

今後も引き続き各県との連携を深め、教育旅行誘致の促進につなげていきます。

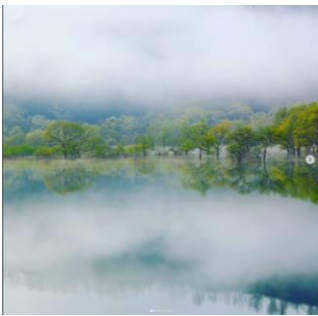


【会議の様子】

海外に向けてSNSで東北の観光情報を発信しています

東観推ではFacebookやInstagram、Weiboを活用して日本国内及び海外に向けて観光情報を発信しています。5月は各SNSともに、春から初夏にかけての情報を中心に発信しました。中でも、やくらいガーデンや十ノ瀬藤の郷といった花の写真や、水没林に関する投稿は非常に多くの人に反応いただき、関心の高さが伺えました。また、英語のInstagramでは奥入瀬渓流の投稿が、フォロワー以外からのリーチが50%を超え、既存のフォロワー以外の方にも広く情報が結果となりました。そして、日本語のFacebook、Instagramでは「#東北PR局」のハッシュタグが付いた投稿を紹介しています。皆さまぜひ、「#東北PR局」を付けて東北の魅力を発信してください！

	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【Weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



【白川湖の水没林】



【十ノ瀬藤の郷】



【鶴の舞橋】

「東北絆まつり 2023 青森」が開催されます！（6月17日～18日）

東日本大震災からの更なる復興と、その先の未来へ向けて前進するために始まった「東北絆まつり」。「青森ねぶた祭」「秋田竿燈まつり」「盛岡さんさ踊り」「山形花笠まつり」「仙台七夕まつり」「福島わらじまつり」の6つの祭りが集結し、東北の勇気と未来への希望を発信してきました。2017年、仙台市での開催を皮切りに、2023年、青森市での開催で一巡となります。東北各地に根差した多彩な文化。東北を代表する6つの祭りがひとつになる瞬間、東北は熱い絆でひとつになり、未来に向かって進み続けます。現在、東北絆まつり実行委員会がまつり本番へ向けて準備を進めています。今年は公道でのパレードも4年ぶりに復活しますので、ぜひ会場へ足をお運びください。



【メインビジュアル】

多彩な東北が、熱い絆でひとつになる。

東北絆まつり 青森

【キャンペーンロゴ】

津軽観光キャンペーン「ツガル ツナガル」6月末まで開催中

一般社団法人Clan PEONY 津軽とJR東日本秋田支社の連携による津軽観光キャンペーン「ツガル ツナガル」が4月1日（土）から6月30日（金）まで開催されています。雄大な「岩木山」や春の花を堪能する「花巡り」、2023年度に世界自然遺産登録30周年を迎える「白神山地」、大雨による運休から復活した「五能線」など、旅のテーマで津軽をつないで盛り上げるほか、特別企画「津軽14の物語」を各市町村で実施し、津軽の魅力を広めています。各種情報発信も含め、主な取組みを紹介します。

ツガル ツナガル

●SNSフォロー ツガルツナガル投稿キャンペーン（6月30日（金）まで）

Clan PEONY 津軽の Instagram をフォローの上、津軽エリアの写真に「#ツガル ツナガル」をつけて投稿すると、津軽 エリアの特産品やクーポンを抽選でプレゼント！
[詳細はこちら](#)



●首都圏で観光キャラバン・PRや産直市を開催

4月3日（月）～9日（日） 大宮駅「津軽産直市」
4月14日（金）、15日（土） 札幌駅「津軽観光キャラバン」
4月21日（金）、22日（土） 船橋駅「津軽観光キャラバン」
5月11日（木） 横浜駅JRE MALL Café「津軽観光PR」
5月12日（金）、13日（土） 大井町駅「津軽観光キャラバン」
5月22日（月）～28日（日） 上野駅「青森産直市」
6月2日（金）、3日（土） 新宿駅「津軽観光キャラバン」
6月19日（月）～25日（日） 大宮駅「津軽産直市」



【上野駅 産直市】



【船橋駅 黒石市「こけし灯ろう」設置】

●5月13日（土）JR北海道と連携した弘前駅からのウォーキングイベントを開催

当日は天候にも恵まれ、青森県内外から多くのお客さまが参加しました。弘前市の歴史・文化を知る施設などを巡り、ウォーキングイベントを満喫いただきました。



【旧笹森家住宅周辺の様子】



【最勝院周辺の様子】

●臨時列車運行や旅行商品の設定

・5月2日（火）臨時列車「りんごの花あすなろ号」運行

弘前駅～五所川原駅間で、りんごの花の開花に合わせて運行しました。弘前駅、五所川原駅では、地域とJR東日本社員によるお出迎え・お見送りを実施し、車内では弘前市、五所川原市による沿線ガイドや津軽三味線の生演奏のおもてなしで、春の津軽の魅力を満喫していただきました。



【弘前駅の様子】



【車内からのりんごの花と岩木山】

・5月20日（土）秋田から十二湖への旅行商品を設定

秋田駅発着の旅行商品「神秘の青池散策！リゾートしらかみで行く白神山地 十二湖の旅」を設定しました。十二湖での散策やアオーネ白神十二湖でのお買い物などをお楽しみいただきました。



【ツアー参加の様子】



【鮮やかなブルーが美しい青池】

・6月3日（土）JAL・ANA・JR東日本連携旅行商品を設定

「秋田の空と陸が一緒におもてなし 団体専用臨時列車『ダイニング 751』で行く弘前への旅」（秋田駅発着）を設定しました。車内ではJAL・ANAの客室乗務員および駅たびコンシェルジュ秋田のスタッフがおもてなしを行い、弘前市内での観光や車内でのゆったりした時間をお楽しみいただきました。



【車内でのおもてなしの様子】

●定期観光バス（5月27日（土）～6月27日（火）の間で15日間設定）

世界遺産で注目を集める「三内丸山遺跡」や、高さ2mの朱色の鳥居が延々と並ぶ「高山稻荷神社」などを巡る定期観光バスが運行中です。6月上旬、下旬を中心に多くのお客さまにご予約をいただいています。

●特別企画（今後も開催予定の一例）

・世界に一つだけのねぶた灯ろう作り体験（黒石市）

黒石ねぶたまつりで実際に運行したねぶた絵を再利用して灯ろうを制作します。制作体験を行う「手作り雑貨体験工房IRODORI」は四季島の立ち寄り箇所にもなっており、うちの制作も行っています。 [企画の内容のご紹介はこちら](#)



特別企画はこの他にもたくさん実施しておりますのでHPをご覧ください。 [津軽観光キャンペーンHPはこちら](#)

第8期フェニックス塾開催のお知らせ

第8期フェニックス塾は50名の塾生を迎え、6月19日に入塾式を行います。アフターコロナの時代において東北の観光に関する課題を議論することで、東北の観光振興についての知見を深め、今後の東北の観光を支えるネットワークの構築を図ってまいります。

東観推人事異動のお知らせ

推進本部において人事異動がございましたのでお知らせいたします。

＜新規採用 5月1日付け＞

・推進本部長代理 栗田利彦

TOHOKU Fan Club 活用について

●TOHOKU Fan Clubで情報を発信してみませんか？

TOHOKU Fan Clubの会員へ地域のイベント情報を発信したり、アンケートの依頼、モニターツアー参加の呼びかけ等をしてみませんか？アンケートは、ターゲットを絞って回答を依頼することもでき、結果を効果的なマーケティングデータとして活用することができます。アンケートの実施、情報発信、モニタープランの参加呼びかけ等を連動させることで、地域への誘客を今まで以上に促進させてみてはいかがでしょうか。投稿とオフアーについては、東観推の会員区分に応じて、一定回数無料でご利用いただけます。詳しくはお問い合わせください。

	① 投稿	② アンケート ※4月1日から料金を改定しています	③ オフアー
区分	ファンへの情報発信 (≒Facebook)	ファンが回答するもの	ファンが申し込むもの または、ファン限定の情報
活用例	おすすめ情報、お得な情報 (例) お祭り・イベント開催予告 新規観光施設のオープン 桜・紅葉の見ごろ情報 等	ファンに聞きたい内容 (例) コンテンツ造成前のテスト マーケティング・認知度調査 等	ファンへの参加や購入の呼びかけ (例) モニターツアー参加者募集 セミナー参加者募集 ファン限定プラン販売 等
利用料	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料	10問まで 15万円 + ポイント原資 30問まで 35万円 + ポイント原資	<会員特典> 正会員 : 3回まで無料 賛助会員 : 1回まで無料



【お問い合わせ先】東北ブランド戦略部 E-mail brand@tohokutourism.jp

【5/18 タイ語での投稿
「奥入瀬渓流」】

東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください

多言語電話通訳サービス 外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【利用時間】24時間365日対応

【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【お申し込みはこちらをご覧ください】

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0443/443_101_file.pdf



「旅東北NEWS」VOL.057 2023年6月14日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！